

登録コード	E8566400	開講年度	2026				
授業科目	卒業研究					担当教員	小野 貴史
英文授業名	Graduation Thesis					副担当	
単位数	5	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	
講義室	教育研究室			授業形態	演習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】	
	2 6 E カリ, 2 5 E カリ, 2 4 E カリ, 2 3 E カリ, 2 2 E カリ, 2 1 E カリ, 2 0 E カリ						
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能						
(2)授業で学べる「テーマ」	芸術文化						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	受講生各自が選定した研究課題に即して文献調査・分析法を踏まえ、学術的整合性を有した卒業論文作成を目指す。						
(5)授業計画	第 1 回：ガイダンス 第 2 回：文献調査法の基礎 【遠隔等】 第 3 回：研究倫理と文献引用方法 第 4 回：文献調査演習 1（学術論文を中心に） 第 5 回：文献調査演習 2（W E B 調査）【遠隔等】 第 6 回：文献調査演習 3（書籍と文献検索方法） 第 7 回：卒論を対象にしたリサーチ・クエッションの設定 第 8 回：リサーチ・クエッションについてプレ発表/ディベート 第 9 回：問題設定について検討/修正【遠隔等】 第10回：研究課題に沿った先行研究文献リストの発表 第11回：卒論テーマの発表 第12回：学術調査法 【遠隔等】 第13回：調査/実験方法の具体的検討 第14回：前期のまとめ 第15回：学術調査及び論述の方法研究 1（実験系） 第16回：学術調査及び論述の方法研究 2（文献調査系） 第17回：クリティカル・リーディングの基礎【遠隔等】 第20回：学術論文・先行研究の参照方法 1（実験系） 第21回：学術論文・先行研究の参照方法 2（文献調査系） 第22回：音楽作品を学術的にどう引用するか【遠隔等】 第23回：引用と注釈の方法【遠隔等】 第24回：先行研究にもとづくプレゼン 1（実験系） 第25回：先行研究にもとづくプレゼン 2（文献調査系） 第26回：実技系プレゼン 第27回：研究発表とディベート【遠隔等】 第28回：研究発表とディベート（前回の指摘を踏まえた改訂稿の発表）授業の最後 1 5 分を授業アンケート実施の時間とする。 定期試験：受講生による研究の総括発表						
(6)成績評価の方法	研究計画発表試及び進捗状況チェック（50％）。完成論文の査読（50％）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90％以上 秀, 89-80％ 優, 79-70％ 良, 69-60％ 可, 59％以下 不可。						
(7)成績評価の基準	（ ）問題の設定が適切であり,（ ）その問題の背景を説明できており,（ ）その問題にどのような課題があるのかを指摘できており,（ ）それらの課題に対しての既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており,（ ）その上で自分の見解を提示できており,かつ,教員を感心させるレベルにあれば「卓越している」。（ ）から（ ）の5項目を満たしていれば「かなり上にある」。4項目までできていれば「やや上にある」。3項目までできていれば「水準にある」。						
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業の際に,予習しておくべきソースを指定する。質問事項は随時受け付ける。						
(9)履修上の注意	全回出席願います。理由の如何を問わず,欠席回数が総授業時数の 3 分の 1 を超えた場合には,単位の認定に至らない場合があります。 教育実習における欠席分はeALPS上で補講・補習ができるよう配慮する。						
(10)質問,相談への対応及び連絡先	オフィスアワー＝授業・会議以外の在室時ならいつでも対応する。授業担当者連絡先（onotaka@shinshu-u.ac.jp）。						
【教科書】	指定しない。						
【参考文献】	その都度紹介する。						